

## 県大会（2回戦）の結果

● 4月26日（日）

春季県大会2回戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
市立浦和	1	4	0	0	0	4	0	1	(8C)	10
早大本庄	1	0	0	0	1	1	0	0		3

（早大本庄高校さんには少々失礼な言い方になりますが）先日の県初戦勝利直後、次戦の相手が出ていき浦和実業学園高校（以下浦実）だと思っていた私は（同時刻に試合）、市民大会や練習試合で敗退している浦実にリベンジするぞ！そんな感じで選手達に声を張り上げました。先生、相手が違います。場の雰囲気が一瞬にして静まる・・・そんなことがありました。

リベンジ予定の浦実を倒した早大本庄高校、当然強い。個々の能力で上回る相手とどのように戦えば良いのか・・・考えましたが、あまりに期間が短く選手達に具体的な指示は出せませんでした。

この日、選手達は身の丈に合った試合を展開しました。高校生って凄いですよね（短期間で成長します）。この代で夏のシード権を獲得できるなんて・・・

敗退の日まで・・・精一杯頑張ります！

## 次戦の予定

次戦、埼玉県大会3回戦は、  
4月29日（水）9時～  
大宮公園球場（3塁側）  
対花咲徳栄高校

引き続き、応援等よろしくお願い致します。

## 大塚

3年生に大塚という選手がいます。

新3年生の中で1番叱られている選手だと思います（市高の場合、生活面などで叱られることはほとんどありませんので、野球のプレー中ということになります）。

怒る＝感情的になる、と、叱る＝（相手の成長や行動の改善を目的として）冷静に注意・指導する、と把握しています。私もまだまだ未熟なのでその使い分けができないことも起きてしまいますが、今の時代、その辺を理解した上でも「叱り方」というのは難しいと感じています。

私の場合（表現難しいんですが）その生徒に「バネ」が存在しているかを見るようにしています。その「バネ」とは、言い訳をしない、その課題に（歯を食いしばって）向き合うことが出来る、みたいな感じですかね・・・私の中で、大塚はそういうことが出来る選手という評価（バネを持っている）をしてここまで過ごしてきました。

そんな大塚が県大会初戦のヒーローになりました。バネが見事に働いたのです。プレーの見た目は良くありません。でも食らいついた打球はワンバウンドしてサードの頭を越していき、好判断でその打球を2塁打にしました。また、ランナー2・3塁の状況でまわってきた打席でもしぶとく三遊間を抜ける2点タイムリーを打ちました。大塚も嬉しかったかもしれませんが、私達指導者も「叱った」甲斐があったという喜びで一杯の1日となりました。

大したチームではありませんが、個々の能力を最大限に引き出せないかを考えて取り組んでいます。たくさんのバネが働いて、強豪校を飛び越えることをイメージしています（しているつもりです）。